

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	G7教育大臣会合の開催			担当部局庁	大臣官房		作成責任者			
事業開始年度	令和5年度	事業終了 (予定)年度	令和5年度	担当課室	国際課		大臣官房国際課長 村上 尚久			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等						
主要政策・施策	子ども・若者育成支援			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	令和5(2023)年5月に広島で開催が予定されているG7サミット(主要国首脳会議)の機会に、G7教育大臣会合を開催し、各国が直面する共通の教育課題について議論を行い、今後の教育の在り方等を世界へ発信するとともに、その成果を我が国の教育政策の検討に生かす。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	G7各国の教育大臣等が集う教育大臣会合を開催する。その他、学校訪問等、我が国の教育・文化に対する理解の深化を目的としたエクスカージョン等も開催する。									
実施方法	直接実施、委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	311			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		0	0	0	0	311			
	執行額		-	-	-	-	-			
	執行率 (%)		-	-	-	-	-			
	当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	庁費	-	301							
	職員旅費	-	8							
	委員等旅費	-	2							
		-	-							
		-	-							
	計	311	311							
活動内容 (アクティビ ティ)	G7各国の教育大臣等が集う教育大臣会合を開催する。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	G7各国の教育大臣及びEU 等の国際機関代表者等が 議論を行うための大臣級会 合を開催する。	開催会合の件数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	-	1	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	要求額/開催会合の件数		単位当たり コスト	-	-	-	-	-		
			計算式	/	-	-	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 6年度	
	議論の成果を反映させた教 育に関する新たな取組を策 定する。	教育におけるイノベーション を加速させる新たな取り組 みの件数	成果実績	件	-	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	-	6	
		達成度	%	-	-	-	-	-		

根拠として用いた統計・データ名(出典)		「新時代の教育のための国際協働」事業における、G7教育イニシアチブ・プログラムの件数等								
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 5 年度	
	新たな教育の在り方に対する関心を高めるための関連イベント及び関連会議が開催されることを目指す。	地方自治体等が主催する関連イベント、関連会議の数	成果実績	件	-	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	-	5	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)										
事業所管部局による点検・改善										
	項目				評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	グローバル化が進む現状において、我が国がイニシアチブをとって日本を含む現在の先進各国の抱える教育に対する課題を議論し、国際的協働を進める新たな提言を行うとともに、議論の成果を我が国の教育施策に反映することは、社会のニーズを的確に反映する非常に有益なものである。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	各国の教育大臣を対象とした会合であり、政府が行うことが妥当である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				-					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	支出先の選定に当たっては、十分な公募期間をもって企画競争等を実施する予定である。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。									
	競争性のない随意契約となったものはないか。									
	受益者との負担関係は妥当であるか。				○	外部有識者による会議等を設置して妥当性を確認する予定である。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	契約締結時に事業経費の単位当たりコスト等の水準が妥当であるかを厳正に精査する。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	費目及びその使途については、支出先との契約の際に、真に必要な経費のみを計上するよう調整する。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	過去に実施した類似事業の実績を踏まえ、コスト削減や効率化に向けた工夫を行っていく。					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				-					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				-					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				-					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-					
	事業番号		事業名							
点検・改善結果	点検結果	G7サミットと関連して、我が国において主要国の教育担当大臣が現在の先進各国の抱える教育に対する課題を議論し、その成果を国内外に発信することは、G7加盟国として重要な使命であり、我が国の教育の国際交流推進に資するのみならず、国際的に活躍できる人材を育成するものとして適切な事業である。								
	改善の方向性	事業の重要性、趣旨、目的を踏まえつつ、事業の効率的な実施に努める。								
外部有識者の所見										
外部有識者による点検対象外										
行政事業レビュー推進チームの所見										
事業目的の達成に向け、効率的な予算執行を図り、費用対効果の向上等に努めること										

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度	新28-0029			
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度				
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省

311百万円

〔旅費 10百万円〕を含む

G7教育大臣会合の開催に必要な準備(当日運営のための職員等の現地への派遣を含む)等を行う。

【一般競争・総合評価・企画競争等による請負】

A. 民間企業等

301百万円

G7教育大臣会合の開催に必要な事前準備、運営企画、会場等確保・設営、参加者輸送宿泊手配、当日運営・進行・撤収等の各種業務等、並びに事前準備及び当日運営のための職員等を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A. 民間企業等

B.

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 民間企業等			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	会合開催に必要な運営企画の立案、実行	301				

